

医療センター だより

2019
VOL. 73



日本人間トック学会
機能評価認定施設



日本トック学会認定施設



日本医療機能評価機構
認定施設

📷 今回の1枚

暑い夏にぴったりのスイカ。
熱中症予防にもオススメです☆



1p ・表紙

2p

・特集

- 最高の「コミュニティホスピタル」をめざして
- 病院機能評価を受審して

3p

・豊田地域ケア支援センター

-オレンジカフェ クローバー

・リハビリテーション科

-「国際リハビリテーション医学会 (ISPRM2019)」で発表・展示してきました!

4p ・新人職員の紹介

・トピックス

- 市民公開講座のご案内
- 職員募集中!

5p

・健診センターからの情報

-第1回健康教室を開催しました

・看護専門学校だより

-海外研修報告

6p

・外来担当医表

・医療センターニュース

-再整備事業の進捗状況について (報告)





最高の「コミュニティホスピタル」をめざして

豊田地域医療センター 院長 井野 晶夫

豊田地域医療センター（医療センター）の再整備事業では現在、建設工事が進められており2021年1月に190床の新しい病院がオープンします。新病院開院準備室を中心として準備を進めると同時に、住民が自分らしい暮らしを人生最期まで続けることの可能な地域づくりに貢献し、広く市民との交流を持って地域と共に成長する病院「コミュニティホスピタル」を提案し、その充実と維持を病院の方針として進めてまいります。

“かかりつけ”病院：医療センターは“専門性の高い高次急性期病院”と“診療所”の間に位置しており、個々の患者さんの状況や病状に応じて、外来・病棟・在宅を通してワンストップで診療を継続することができる体制を整備します。更に家族の方にも医療者が積極的に関わり、連携して様々な支援策が実施できるようになることを目指します。

“地域医療の最前線”：豊田市の在宅診療の必要件数は2025年には2016年度実績値の2.8倍である2,200件以上に増加すると推定されています。医療センターでは24時間・365日の在宅医療体制を確立し、訪問リハビリや栄養指導などの充実も進めてまいります。更にオンライン診療やAI導入などもはかり、医師会などの諸機関とも協力して患者さんやその家族の方に満足していただける地域包括ケアシステムの構築に貢献したいと考えています。

“地域に開かれた”病院：一般市民の方との交流の場として、認知症カフェ「オレンジカフェクローバー」や健康教室などを開催するほか、豊田加茂医師会と連携

して「豊田マラソン大会」や「とよた産業フェスタ」に参加しています。今後とも積極的に地域に出て触れ合いの機会を多く持ち、地域の方から自分たちの病院と思ってもらえるようになることを目指したいと考えます。

“地域の健康づくり”：死因統計では悪性腫瘍、心疾患、脳血管障害が半数以上を占めていますが、いずれの病態も早期診断や早期介入によって発病や進行の予防が可能であることが明らかにされています。その基盤となる健康診断は健康寿命の延長や地域の健康づくりに極めて重要な診療活動であり、今後ともその充実を進めてまいります。

“教育で地域医療を活性化”：急速に増加するこの地域の医療、介護需要を担う人材の確保・育成は重要な課題です。藤田医科大学研修プログラムとの連携を通じて医師確保を進め、地域医療の担い手となる総合診療専門医をこの地域に輩出することができています。充実した教育プログラムを維持することは医療センターだけでなく、この地域の医療体制を活性化できると考えています。訪問看護師の人材育成については、今年度より豊田訪問看護師育成センターを設置し、教育プログラムを始めることができました。西三河北部医療圏は医療・介護需要予測指数の増加率が愛知県で最も高く、これらの教育活動が有効に機能することを期待しています。

医療、サービスや人材などの総合的な質管理体制も整備・維持し、新病院が皆様にとって最高の「コミュニティホスピタル」になるように頑張りたいと思います。

病院機能評価を受審して

病院機能評価受審推進委員会事務局リーダー 神部 秀行

病院機能評価の事務局を任せ、昨年12月12日（水）・13日（水）の2日間にわたって、公益財団法人日本医療機能評価機構による訪問審査を受審しました。

当院の病院機能評価は、2008年9月に初回認定、2013年9月に更新の認定をそれぞれ受けており、今回は3度目の受審、認定となりました。

具体的な評価対象として、「患者様中心の医療が行われているか」、「良質な医療の実践が確実に行われているか」、「病院組織の運営・管理体制は適切か」など、90項目について評価されました。

この年は、電子カルテの更新、診療報酬改定もあり業務負荷の分散を図るため模擬受審を8月、そして本受審を12月としました。

受審を終え、病院全体で質的向上を目指した継続的な取り組みが重要であると再認識するとともに、患者さま中心の医療の提供に向け、職員の意識や連携が高まったものと確信しております。

オレンジカフェ クローバー

豊田地域ケア支援センター

オレンジカフェクローバーは認知症の人とその家族、地域の方、どなたでも参加できる集いの場です。藤田医科大学教授の浅井先生がカフェ・マスターとして時にはよろず相談の対応もしています。

その評判が人を呼び、毎回参加される方も増えてきました。

おいしくお財布にも優しいコーヒーとお菓子を楽しみ、ほっとできる場所があります。誰でも気軽におしゃべりができるよう配慮し、初めての方でも安心して良質な時間を過ごすことができるカフェです。

これからも沢山の人の「出会いの幸運」見つけていただけるよう開催していきます。

開催日時：毎月第2金曜日
午後2時から午後4時まで 予約は不要です
参加費：200円（飲み物、お菓子代込み）
お問い合わせ：豊田地域ケア支援センター
☎0565-34-3209
※オレンジカフェクローバーは、豊田認知症カフェ登録事業に基づき開催しています。



浅井先生のよろず相談の様子

50年以上前の出合いがこのカフェで繋がりました。今は大きくなられた子供さんの親同士がここで再会されたりと小さなドラマがこのカフェで展開されました。

「国際リハビリテーション医学会 (ISPRM2019)」で発表・展示してきました!

リハビリテーション科 教授 太田 喜久夫

6月9日から16日にかけてリハビリテーション医学の国際学会・国内学会が神戸市にて同時に開催されました。

- ・国際学会の日本開催は22年ぶり!
- ・国際学会は73ヶ国から2,500人以上の参加!
- ・国内学会は6,000人以上の参加! (共に過去最高)
- ・当院医師2名で計10の出番!
(講演、シンポジウム、口演・ポスター発表など)



豊田市・豊田地域医療センターのブース



ランチョンセミナー講演

私もランチョンセミナーで豊田市長とともに、豊田市及び当院のロボット技術を活用した地域リハの実践を英語で紹介しました。300人以上の聴講があり、会場は熱気に溢れていました。

展示場のブースでは、豊田市と当院の魅力・先進性をアピールしてきました。海外を含め、複数の当院見学依頼もあり、当院から世界に発信していく機会となりました。

2019年度 第1回 健康教室を開催しました

健診センター

今回は「生活習慣病を予防しよう」というテーマで開催しました。当日は29名の地域の皆様にご参加いただき、高血圧症について講演を行いました。医師からは、「高血圧とは」「高血圧の診断」「高血圧の治療」の3つのテーマに分けてお話しがあり、高血圧の危険性、改善には生活習慣の修正が重要であることを学んでいただきました。また、管理栄養士からは、普段の食事の塩分チェックを行い、減塩方法や調理の工夫についてアドバイスを受けました。最後に食品サンプルを使って、それぞれの食品に含まれる塩分量を実際に確認していただき、塩分量の多さにびっくりされている様子でした。

次回の健康教室は

〈『腰痛』予防術☆〉というテーマで、腰痛の原因と予防方法、自宅でできる体操について、理学療法士とからだを動かしながら学びます。開催日時は9月4日(水) 14:30からです。豊田地域医療センター隣の、豊田加茂医師会館で行います。お申込みをお待ちしております。お申し込み先:健診センター TEL0565-34-3005



外来担当医表

●お問い合わせ 医事課 TEL.0565-34-3006

診療時間	月曜日～金曜日	9:00～17:00
	土曜日	9:00～12:00
	休診日	日曜日、祝日、年末年始

救急診療は
24時間
受入れ体制

診療科目	月	火	水	木	金	土	
午前	総合診療科	上松 又は 今井 高岡 森川(智)	日比野 久賀 清原 浅井 (もの忘れ外来) 平嶋	北山 伊藤(晴) 新美 岡本	田口 岡本 近藤(敬)	平嶋 金野 篠田 伊東 寺澤	今井 又は 河邊(拓) (第1・2週)
	消化器内科		坂本			今井	坂本 (第3・4・5週)
	循環器内科				木村		
	呼吸器内科	茂谷					茂谷 (第3・4・5週)
	外科	藤田	清水(謙)	山口	四方	清水(朋)	清水(謙)
	整形外科	立花		山田	立花		立花
脳神経外科	中村		廣瀬 (もの忘れ外来)				
午後	総合診療科	野崎 河合 井野	日比野 藤村 上松	石黒	田口 (禁煙外来) 近藤(千) 河邊(温)	寺澤 藤村 久賀 伊東 大杉(泰) (第1・3週) 荒川 (第2・4・5週)	
	リハビリテーション科		太田				
	神経内科			竹内(誉) (もの忘れ外来)	竹内(誉)		
	呼吸器内科			神原 (睡眠時無呼吸検査)			
	泌尿器科	白木 (第2・4週)					

※曜日・担当医は変更になる場合があります。ご了承ください ※青字の医師は、藤田医科大学教授です。

令和元年7月1日現在

看護専門学校だより

海外研修報告

本校の教科外活動には、「海外の医療事情・看護事情に触れることにより視野を広げるとともに、研修までの一連の過程、また、集団の活動を通して、自己をみつめ、創造性・協調性を養う」ことをねらいに、3年次の4月に海外研修があります。今年度も、ハワイに4月8日～13日(4泊6日)行ってきました。ストラウプホスピタル見学では、学生たちは緊張しながらも準備していた英語であいさつを行い、携帯のアプリを使って積極的に質問するなどして、日本とハワイの医療の違いや、その地域の特徴など捉えることができました。また、ハワイ大学では、日本語を話せない大学の学生たちと過ごし、最初は緊張で口数の少なかった学生たちでしたが、ジェスチャーを交えながら同年代の同じような道を進む同士として、楽しく交流でき、笑顔を見せていました。ハワイで働く日本人看護師との交流では、限られた時間をいっぱい使って制度や資格、仕事内容の違いなど熱心に聞くことが出来ました。これらの経験は、国際的な視点を持った看護の捉え方や看護の本質を考える良い機会になったと感じました。



医療センターニュース

再整備事業の進捗状況について(報告)

病院再整備事業は、昨年7月以降順調にすすんでいます。いよいよ2台目のタワークレーンも立ち上がり、遠方からもよく見えるようになりました。しかしながら、今の時点では建物の全体像が把握しにくいと思いますので、北棟玄関ホールに完成後の模型を展示いたしました。どうぞお気軽にご覧下さい。

さて、当施設ご利用の皆様には、駐車場の混雑で多大なご迷惑をおかけしておりお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんが、次の点にご協力いただきたくよろしくお願い申し上げます。

- ・公共交通機関のご利用を検討ください。
- ・ご家族やお友達同士の健診は、なるべく乗り合わせてお越しください。
- ・お見舞いは、原則として午後からお願いします。



◇編集・発行
豊田地域医療センター
〒471-0062 愛知県豊田市西山町3-30-1
TEL 0565-34-3000(代) FAX 0565-35-2841
http://www.toyotachiiki-mc.or.jp/

ホームページも
ご覧ください



病院理念 私たちは、医療・保健・福祉を通して、地域のみなさまの生命を守り、健康で生きがいのある生活を支援します。

基本方針

- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者さまの立場にたった総合的医療を提供します。
- 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域のみなさまの健康増進に努めます。
- 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者さまに適切な医療サービスを提供します。
- 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。